

評価・評定について

1 「評価・評定」とは

(1) 評価

学習指導要領に示す各教科の目標に合わせて学習状況を観点ごとに(「観点別学習状況」という)A、B、Cの3段階で表したものです。

(2) 評定

各教科の目標に合わせてそれぞれの「観点別学習状況」を総合的に判断し、1～5の5段階で表したものです。

(3) 小学校との違い

中学校は教科担任制であるため、各教科担当が責任をもって評価・評定をつけます。

(4) 相対評価・絶対評価

全体の7%を「5」にするなどの評価・評定のつけ方を「相対評価」と言うのに対して、学習の「達成度」で評価・評定をつける方法を「絶対評価」といいます。

2 「評価」の出し方

昨年度よりすべての教科が、同じ3つの観点(裏面)の**観点別学習状況**をA、B、Cの3段階で表しています。それぞれの観点で目標に対して各自がどの程度達成できたかを表す絶対評価です。そのため集団の中での相対的な位置を表すものではありません。

評価の方法は、定期考査(中間、期末)や小テストなどのほか、授業中の態度や発言など、宿題提出状況、ノート点、レポート点、作品の完成度などを通して、教科の特質や指導内容に合わせて行います。

原則として、観点別の目標の**達成度**に応じて、観点別評価をA、B、Cの3段階で表します。

資料1【観点別学習状況の評価の基準】

	達成度	評価
十分満足できると判断されるもの	100%～80%	A
おおむね満足できると判断されるもの	80%未満～50%	B
努力を要すると判断されるもの	50%未満	C

3 「評定」の出し方

各**観点別学習状況**を総括し、5、4、3、2、1の5段階で表します。目標に対して各自がどの程度達成できたかを示す絶対評価です。そのため集団の中での相対的な位置を表すものではありません。基本的には、3つの観点別学習状況の「評価」を総合し、「評定」の達成度を表します。なお、教科の特性上、学期により観点の比率が各教科により多少異なることがあります。(裏面補足4)

原則として、目標への**達成度**に応じて、評定を5、4、3、2、1の5段階で表します。

【評定の基準】

	達成度	評定
十分満足できると判断されるもののうち特に程度の高いもの	100%～90%	5
十分満足できると判断されるもの	90%未満～80%	4
おおむね満足できると判断されるもの	80%未満～50%	3
努力を要すると判断されるもの	50%未満～20%	2
一層努力を要すると判断されるもの	20%未満	1

(補足1) 実際の評価・評定～観点別学習状況の評価と評定の関係

評価基準計画表を用いた評価の例

	観点別	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定に至る達成度	評定
Aさん	観点別達成度	95%	96%	93%	94.7%	5
	観点別評価	A	A	A		
Bさん	観点別達成度	90%	82%	85%	85.7%	4
	観点別評価	A	A	A		
Cさん	観点別達成度	85%	90%	70%	81.7%	4
	観点別評価	A	A	B		
Dさん	観点別達成度	95%	89%	88%	90.7%	5
	観点別評価	A	A	B		

資料1の「観点別学習状況の評価の基準」によって、算出された達成度によって観点別に「評価」をつけます。(補足1)の表ではAさん、Bさんの評価は「A A A」となっています。同じ評価であっても、観点別達成度のパーセントは異なります。Aさんは「**評定に至る達成度**」が90%以上、Bさんは90%未満なので、Aさんの評定は「5」、Bさんの評定は「4」になります。同じAAAで「5」と「4」になる生徒がいるのはこのような理由です。

同様にCさん、Dさんの場合は評価が「A A B」と同じになりますが、Cさんの評定は「4」、Dさんの評定は「5」となります。

(補足2) 学年末における評価・評定の出し方

評価・評定は「1学期」「2学期」「学年」の年3回出し、各ご家庭へ通知します。原則として、「学年」の評価・評定は、「1学期」と「2学期」「3学期」の総合点で算出します。

(補足3) 3学年における評価・評定の出し方

現行の受験(受検)体制に合わせて、3学年の評価・評定は「1学期」「調査書用評定」「学年」を出します。原則として、「1学期」は4月～7月までの成績を、「調査書用評定」では4月～12月までの成績が反映されます。

(補足4) 3観点の割合

教科の特性に応じ、3観点の割合が年間を通して平準化するように計画し、実施していきます。ただし、3年生は「調査書用評定」の段階で平準化するようにいたします。

(補足5) 総合的な学習の時間の記録と評価

学習の様子や成果を観点に沿って、文章で評価しています。

(補足6) 特別の教科 道徳の記録と評価

学習の様子や成果を観点に沿って、文章で評価しています。